

# 附属幼稚園だより 第18号

令和3年 1月27日発行 文責：室野 亜津子

「したい 知りたい やってみよう」が  
いっぱい幼稚園

## 豆まき

今年の節分は、2月2日。もともと、交通安全教室が予定されていたため、幼稚園の豆まきは2月3日に行く予定でした。しかし、コロナの影響で交通安全教室が中止になりましたので、豆まきを2月2日に繰り上げることができました。

豆まきにもいろいろなスタイルがありますが、附属幼稚園の鬼はちらっと見える程度です。または、「鬼が来たらしい。」と人づてに聞く程度です。幼稚園に来るのが怖くなるほどおびえさせないように。

大事にしたいのは、心の鬼を退治すること。泣き虫鬼、怒りんぼ鬼、弱虫鬼・・・自分の変えたいところを思いながら、鬼の絵に向かって豆をぶつけます。

よかったら、御家庭でも子どもさんと一緒に豆まきをいかがですか。日本の伝統文化です。「鬼は外、福は内」と大きな声で言いながら豆をまけるのは、子どもが小さいうちですよ。

## 子ども会に向けて

年長児が子ども会に向けて、だんだん形になってきました。それを、年中児や年少児が見て、子ども会のイメージをもち、「自分たちもやってみよう」につながっています。

子ども会は、これまでの保育の集大成ともいえます。これまで大事にしてきた主体性、創意工夫、協働性などを生かし、年齢に応じた子ども会をします。

「園長先生、見て、見て！」と目を輝かせて、自分たちでつくったものを見せてくれます。子ども会という共通の目的に向かい、友達と力を合わせて何かをする経験が、子どもを生き生きとさせています。

大勢の人前で何かをするという経験は、これまでほとんどありませんから、子どもにとってはハードルの高い経験です。（大人にとってもそうですよね。）しかし、これを経験することで自信がつかます。また、今年、うまく表現できなかったとしても、その経験がちゃんとこの後の成長につながります。

風邪など引かず、全員出席の子ども会になることを願っています。

## 2月行事

- 2日(火) 豆まき
- 4日(木) 年長子ども会  
年長午前保育
- 16日(火) 年中子ども会  
年中午前保育
- 17日(水) 年少子ども会
- 18日(木) ほしの子ランド  
(未就園児との交流)

